

会館だより

2013年 6月号 第288号



公益財団法人 日中友好会館

「会館だより」6月号の内容

行事案内

《日中友好会館美術館》

- ・ 主催催事
「小説(ものがたり)・戯曲(しばい)を描く
—中国木版年画」展

《日中友好後楽会》

- ・ 定例談話会
- ・ 後楽会中国旅行

活動記録

- ・ 4月談話会
- ・ 後楽寮生が花見会を開催
- ・ 後楽寮生が日中友好スポーツ交流会に参加
- ・ 日中青少年交流事業
第5回諮問委員会を開催

附録

- ・ 理事長のツイッター

会館行事と人の動き

表紙

『白蛇伝』 年画

(2013年5/31～6/23開催)

「小説(ものがたり)・戯曲(しばい)を描く
—中国木版年画」展より)

※詳細は2ページの案内をご覧ください

行事案内

日中友好会館美術館

◆主催催事

「小説(ものがたり)・戯曲(しばい)を描く
—中国木版年画」展

会 期：2013年5月31日(金)～6月23日(日)

時 間：10時～17時

主 催：(公財)日中友好会館

監 修：三山陵(大東文化大学大学院講師)

出展協力：早稲田大学図書館

早稲田大学演劇博物館

協 力：日中藝術研究会

後 援：中国大使館、(公社)日中友好協会、

日本国際貿易促進協会、(一財)日

本中国文化交流協会、(社)日中協会

本展では、その様々な題材の中でも『三国志演義』や『水滸伝』など庶民が好んだ小説や戯曲の主人公らが登場し、人気のあった題材の年画を中心に約50点をご紹介します。第一線の研究者による解説付ですので、「絵解き」を楽しみながら華やかな年画の世界を味わっていただける構成となっています。作品は有名な年画制作地である天津市郊外の楊柳青^{ようりゅうせい}で約80年から100年前に制作されたものが中心です。所蔵元である早稲田大学図書館と早稲田大学演劇博物館にご協力を頂き一般公開が初めてとなる貴重な年画を多数展示いたします。

【問合せ】(公財)日中友好会館 文化事業部

電 話：03-3815-5085

メールアドレス: bunka@jcfc.or.jp

日中友好後楽会

◆定例談話会

日 時：6月12日(水) 17:00より

会 場：日中友好会館地下1階大ホール

参加費：1,500円(会員)

非会員の方はお問合せください。

世界遺産である敦煌石窟は、シルクロードの要衝で、仏教壁画や彫刻の宝庫ですが、風化や浸水の危機にさらされ、観光客の吐く息で劣化が進んでいます。今回の談話会では、敦煌莫高窟壁画の現状、保護や管理方法について、後楽寮生で敦煌研究院 保護研究所の陳港泉さんから、お話しいただきます。

文化財の保護と観光振興の矛盾をどう緩和するかなどのお話を、専門家から直接聞ける希少な機会です。どうぞご聴講ください。談話会後は、館内にて懇親夕食会を予定しております。

(事務局担当：緒方)



『三国志演義』より。劉備の息子を救い出す趙雲(字は趙子龍)の活躍を描いた「趙子龍単騎救主」(部分)

「年画」は、中国でお正月(春節)前に売り出され庶民が部屋に貼って楽しんだ絵です。主に木版印刷で鮮やかに彩色されています。

題材は新しい年を祝うものや、長寿・豊穰を表す吉祥の図、教育的要素を持ったものや風景や花鳥図など幅広くあります。

◆後楽会中国旅行

中国旅行の申込みを現在、受け付け中です。問合せのみも歓迎です。美しい自然と少数民族の文化が融合した素晴らしい地域ですのでこの機会にご参加ください。

今回は、雲南省麗江・大理とその周辺を訪れます。麗江古城は、ナシ族がすむ瓦屋根の建築が並ぶ、水路が張り巡らされた古鎮で世界文化遺産に登録されています。大理はペー族の伝統建築や文化が豊富です。このあたりは古くよりチベットと雲南省を結ぶ茶の交易路「茶馬古道」が通り、その宿場町として栄えた古鎮が多く点在しています。そこにはナシ族、ペー族、イ族などの少数民族が暮らし、独特の文化が色濃く映し出されています。今回はその古鎮を巡っていきます。最終的な申込み締切は、8月となりますが、振込案内や諸連絡がございますので、ご希望の方はまずはご一報いただきますようお願いいたします。

(事務局担当：小林)

日程：11月18日(月)～11月25日(月)泊8日

行先：雲南省麗江・大理・昆明

内容：

- 1日目：成田より国際線にて中国へ、国内線乗継ぎ、麗江へ移動
- 2日目：麗江見学
(世界遺産 麗江古城、玉泉公園、トンパ文化博物館、木府等)
- 3日目：麗江見学(玉龍雪山、白沙村、束河村、茶馬古道博物館等)
- 4日目：麗江より専用バスにて大理へ途中、劍川県見学(長江第一湾、石鼓鎮、沙溪古鎮等)
- 5日目：大理見学(周城村、崇聖寺三塔、大理古城、喜州村等)
- 6日目：大理より専用バスにて昆明へ途中、祥雲雲南駅鎮、楚雄市博物館を見学
夜、元後楽寮生と交流夕食会
- 7日目：昆明見学(西山の龍門、石林等)
- 8日目：昆明より国内線を乗継ぎ、成田へ帰着

参加費用：会員 ¥208,000/1名

(2人一部屋利用の場合、国際線
燃油チャージ代別)

詳細はお問い合わせください。

【申込み・問合せ】

後楽会事務局 小林、緒方、大竹

電話：03-3811-5305

FAX：03-3811-5263

メールアドレス：kourakukai@jcf.or.jp

活動記録

◆4月談話会

4月の談話会は4月23日に、後楽寮生の王蕾さんを講師に迎え、「談笑風生 話“命名” —ネーミングの面白みを味わう」というテーマで、日中両国のブランドやメーカー・商品名の名付けについてお話いただきました。ネーミングの概要や効用についての詳しい解説ののち、コココーラ(可口可乐)、UCC(悠詩詩)、レブロン(露華濃)、BMW(宝馬)など、中国語でのネーミング例を多く挙げてどのような意味があり、どのような意図でネーミングされているかを説明され、参加者は興味深く聴講しました。



講師の王蕾さん

(後楽会事務局)

◆江田五月会長が訪中、中日友好協会との相互訪問の協議書に調印



協議書に調印した中日友好協会・井頓泉副会長(右)と日中友好会館・江田五月会長

4月27日から4月29日までの日程で江田五月会長が北京を訪問し、当会館の事業に係る関係機関・団体と会談し、日中青少年交流と文化交流事業の実施への協力を要請するとともに、関係者との意見交換を行いました。

4月28日には、中国日本友好協会・井頓泉副会長と日中友好会館・江田五月会長が、今後の両者の幹部の相互訪問に関し、協議書に調印し、また、中国日本友好協会・唐家璇会長、文化部・蔡武部長、教育部・郝平副部长、中華全国青年連合会・盧雍政副主席、木寺昌人・駐中国大使らとそれぞれ面会しました。そのほか、日中青少年交流関係者との昼食会には、中国社会科学院や国家行政学院の関係者も出席し、両国青少年の交流の重要性などについて語り合いました。

一連の日程に、武田勝年理事長、王昆中国代表理事らが同行しました。

◆後楽寮生が花見会を開催

初春の候、桜が競うように開花し、散る桜もまた人々の心を打っています。3月31日、70名余りの後楽寮の中国留学生が参加し、新宿御苑にて“お花見の会”を開催し、宴を楽しみ、日本の伝統文化を体験しました。

当日は気候が少し冷たかったにも関わらず、寮生のお花見にかける情熱に少しも影響をおよぼしませんでした。後楽寮寮生委員会の引率の下で、後楽寮を出発し、数グループに分かれて新宿御苑に到着しました。新宿御苑は東京都の新宿区と渋谷区の間にある庭園で、園内には70種類もの桜が植えられ、園内の設計も素晴らしく、景色もきれいでまるで桜の天国のようです。

新宿御苑に到着した瞬間、皆は目の前に広がる素晴らしい景色に圧倒されました。ちょうど桜の散る季節で、桜はとても美しくたたくずんでいました。桜の花びらが皆の周りにひらひらと舞い降り、感動の音が上がっていました。桜の花々に囲まれ、参加者達は皆日頃の勉強の悩みと仕事のストレスを忘れて、お花見を楽しみました。

桜の鑑賞後、一本の桜の木の下に集まり、寮生委員会がお昼の準備を始めました。寮生達は談笑しながら昼食を楽しみ、その後留学生事業部の陳先生が挨拶をし、今回のお花見は以前に見聞きしたものとは違って、桜の散る美しさはまるで別世界のように感じられるとおっしゃっていました。さらに、寮生と一緒に今回のお花見を堪能することができ大変に喜ばしくこれからも寮内の活動に積極的に参加してほしいと述べました。あわせて、寮生同士の交流を深め、後楽寮を心温まる留学生寮にしていきたいとおっしゃっていました。

引き続いて、後楽寮を退寮予定である第36期後楽寮寮生委員長胡波さんが今までの寮生の皆様の関心と協力に感謝し、これからの皆さんの学業と仕事の成功をお祈りするとともに、帰国後も連絡をとりあいたいと述べました。続いて、後楽寮芸術団の指導者である班文林さんが、後楽寮ではまるで家庭のようであり、沢山の友達ができたとの感想を述べた後、于蒙さんと《神話》という歌を披露しました。

さらに古い寮生数名が皆さんの日頃からの世話に感謝し、皆さんの成功をお祈り

すると述べました。その後、新入寮生達が自己紹介を行い、陳先生および寮事務室の皆様と寮生の皆様に入寮時の協力に対して感謝の気持ちを述べました。そして、これから後楽寮生と友好的な関係を深めたいとの気持ちを述べました。

その後、参加者は歓談したり、遊んだり、桜の写真を撮ったりして楽しみました。毎日研究で忙しい寮生にとって、今回の活動は日本の文化に触れるよい体験となりました。十分にリラックスすることができたことは、今後の学業にも良い影響を与えることになるでしょう。活動の最後に、今回の楽しかったお花見会の記念としてみんなで集合写真を撮りました。



満開の桜の下で記念撮影
(後楽寮寮生委員会 丁敏)

◆後楽寮生が日中友好スポーツ交流会に参加

日中民間文化体育交流を積極的に促進させ、日中両国民の友好交流を推進し、互いの理解を深め友好を強化させるため、2013年4月21日、NPO法人東京都日中友好協会と北区日中友好協会が“日中友好スポーツ交流会”を北区滝野川の体育館で開催しました。この大会に後楽寮の学生ならびに日中友好協会の友好人士約100名が参加しました。

交流会開始の前に、参加者は4月20日に発生した四川省雅安市蘆山地震のために、

募金活動を行い、後楽寮の参加者は国内の被災区に対し追悼の気持ちを述べました。そして10時に大会が正式に開始される際も参加者全員が四川省雅安市蘆山の被災者に黙祷を捧げました。その後、日中両国の国歌を斉唱し、日中友好スポーツ交流会が幕を開けました。東京都日中友好協会の宇都宮徳一郎会長が開幕式で「この度体育交流を開催することは、身体を鍛えることだけでなく、友誼を結ぶことにもなり、日中友好を促進させることにもなります。この度の活動を通じ、日中双方でより一層理解を深め、友誼を促進することを願います。」と挨拶されました。

参加者達は、日本側の指導の下で簡単な準備体操をした後、“友誼を第一とし試合を行う”、という二つの原則に基づき、バドミントン、バレーボール、卓球、太極拳などのフリートーナメントの試合を行いました。体育交流会は4時間にわたり行われ、皆は語りあい、笑いあい、球技の能力を高めただけでなく、新しい友人をつくることができました。沢山の参加者達が大変に喜び、この週末はととても楽しくすごすことができ、東京都日中友好協会と北区の日中友好協会の皆様が相互交流の土台を築きあげてくださったことに感謝したいと言っていました。今後もこのような活動が継続されることを期待します。



参加者全員で

なお、この模様は日本のCCTV大富によって4月24日の“日本新聞”の中で報道されました。(後楽寮寮生委員会 閻祺)

◆日中青少年交流事業 第5回諮問委員会を開催

4月23日、当公益財団にて、日中青少年交流事業の第5回諮問委員会が開催された。

諮問委員会は、平成21年2月、当事業の適正かつ効果的な推進を図るため、外部からの視点を取り入れ、より良い交流事業を目指していくために設置された。委員は雨宮忠氏（公益財団法人文教協会会長）、石川好氏（酒田市美術館館長、作家）、高島肇久氏（株式会社日本国際放送特別専門委員）、高原明生氏（東京大学大学院法学政治学研究科教授）の4名で構成され、高島氏が座長を務めている。



意見を述べる諮問委員

これまで、事業実施にあたって委員各氏には、訪中団への参加や団員の推薦、訪日団の企画内容の助言のほか、中国高校生向けセミナー講師や、中国メディア関係者への基調講演など、多大な支援と協力をいただいた。また平成23年8月には、ポストJENESYS事業の実現に向け、高島座長より「日中青少年事業への提言」もいただいた。

第5回諮問委員会には、諮問委員のほか、外務省から川田勉・アジア大洋州局中国・モンゴル第一課地域調整官、石井智恵子・同課外務事務官らが、そして当公益財団からは武田勝年理事長、王昆中国代表理事、谷野作太郎顧問、村上立躬顧問、小島義夫事務局長、王加新総合交流部長、荻原芽総交流部部長が出席した。



日中間の交流再開に向けたアイデアを話し合う

委員会では、武田理事長と川田調整官の挨拶の後、平成24年度に「キズナ強化プロジェクト」として実施した交流事業の最終実績及び予算執行状況について報告がされた。また平成25年以降、外務省が実施する青少年交流事業 JENESYS2.0 についての概要説明も行い、中国との交流事業について引き続き、当公益財団が担当することが報告された。

委員からは、残念ながら延期が相次いだ昨年を振り返り、日中青少年交流の全面復活に対する率直な意見が挙げられたほか、JENESYS2.0 事業の内容についての質問や、新たな具体的なプログラム提案も出されるなど、活発な意見交換が行われた。

委員会終了後は、会場を移し、総合交流部員を交えての懇親会を開催した。会は高島座長の乾杯で始まり、食事を取りながら諮問委員、外務省川田調整官にお話をさせていただいたり、総合交流部員も代表者が事業を担当した際の感想や、青少年交流に対する思いなどを語り、終始和やかな雰囲気の中となった。

(総合交流部)



理事長のツイッター

(公財)日中友好会館 理事長 武田 勝年

ゴールデンウィーク前半の4月27日(土)～29日(月)の間、江田会長に同行して北京を訪問しました。短期間でしたが、中国日本友好協会唐家璇会長との会見、会食を始めとして、文化部蔡武部長、教育部郝平副部长、中華全国青年連合会盧雍政副主席と面談し、江田会長より青少年交流事業について日本側の準備状況と実施への意気込みをご説明頂きました。中国側幹部も異口同音に、「現在両国関係は緊張状態にあるが、青少年交流は将来のためにも極めて重要且つ有意義な事業であるので注力すべきと考えている。」との発言がありました。

一方で中国青少年の訪日交流は、訪日すると周囲から非難を浴びる、日本は右傾化しており危険と言われた、日本で何を話せばよいか分からない等の理由で参加を躊躇する者も多いとの話も聞かされました。流石に政治の国ですからやむを得ないことかなと思う反面、中国側関係者にはしっかり説明し、より多くの訪日交流を実現して貰いたいとお願いをしてきました。今まで多くの中国青少年に訪日後に感想文を書いてもらいましたが、「BEFORE & AFTER」を比較すると一目瞭然、日本・日本人に対する好感度が大幅に上昇しています。

28日に若干風があったので、29日は青空が見られました。午前には道教のお寺である東岳廟、午後に若者が集まる798芸術区を訪れましたが、とても面白い場所で、すっかり北京の陽春を楽しみました。皆さんも機会があれば是非訪ねて見て下さい。

会館行事と人の動き 4/1～30

● 会館行事

- 4/ 5 ▶ 日中学院入学式
- 4/ 9 ▶ 山東省濰坊鳳長崎巡回「長崎伝統文様ハタと中国山東省濰坊鳳展」閉幕
- 4/15～5/7 ▶ 主催展「日中友好会館所蔵中国絵画名品展」
- 4/18 ▶ 後楽会気功・中国画教室
- 4/23 ▶ 日中青少年交流事業 第5回諮問委員会
 - ▶ 後楽会談話会「談笑風生 話“命名”—ネーミングの面白みを味わう」講師:王蕾

● 来館・訪問・面会

- 4/ 8 ▶ 中国大使館 韓志強公使 往訪（武田理事長、王中国代表理事）
- 4/10 ▶ 國學院大学国際交流課 石山課長他 来館（留学生事業部）
- 4/16 ▶ 長崎県 荒田国際課長 来館（王中国代表理事）
- 4/17 ▶ 中国国際貿易促進委員会 顔国東駐日本総代表 往訪（武田理事長、王中国代表理事）
- 4/19 ▶ 日立建機株木川会長 往訪（武田理事長）
 - ▶ 竹下評議員 往訪（武田理事長）
- 4/24 ▶ 株ドクターソフ 向井代表取締役 来館（村上顧問、王中国代表理事）
- 4/25 ▶ 中国大使館商務処 呂克儉公使 往訪（武田理事長、王中国代表理事）
 - ▶ 中国大使館政治部 桂桂軍参事官 往訪（武田理事長、王中国代表理事）

● 行事参加、その他の活動

- 4/ 2 ▶ 日中現代書道絵画開幕式（武田理事長）
- 4/10 ▶ 中国大使館教育処主催 自費留学生表彰式（留学生事業部、後楽寮生）
- 4/21 ▶ 日中友好スポーツ交流会（留学生事業部、後楽寮生）
- 4/25 ▶ 留団協定例会（於：高山国際教育財団）
- 4/27～4/29 ▶ 北京出張（江田会長、武田理事長、王中国代表理事他）
- 4/27 ▶ 日本大使館との会談、中日友好協会 唐家璇会長らとの会見・招宴
- 4/28 ▶ 日中友好会館と中日友好協会間の相互訪問協議書調印
 - 文化部訪問、教育部訪問、中華全国青年連合会訪問
 - 青少年交流関係者との昼食会（出席者:中日友好協会・中華全国青年連合会・中国社会科学院・国家行政学院）